

WAVE TIMES | VOL.13

札幌市民交流プラザ情報誌

感動が、交差する。

PLAZA FESTIVAL 2020

hitaru TOPICS

オペラ
蝶々夫人が
できるまで

The making of Madama Butterfly

SCARTS TOPICS

「ことばのいばしょ」展を
振り返って

アーティストボイス

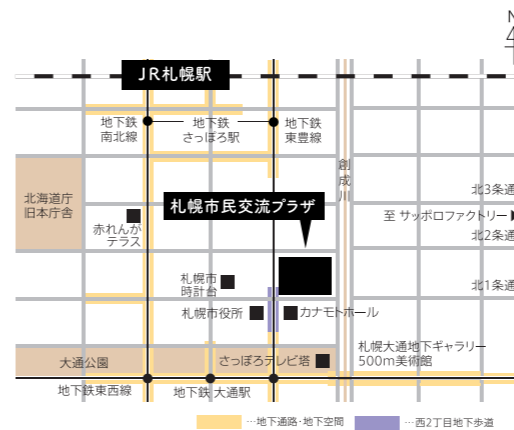
陶芸家

下沢敏也



札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



地下鉄「大通」駅直結

札幌市中央区北1条西1丁目 さっぽろ創世スクエア

WAVE TIMES

「WAVE TIMES (ウェーブタイムズ)」は、「札幌市民交流プラザ」のトピックスや公演・イベント情報などを発信している冊子です。

札幌市民交流プラザ情報誌 vol.13 発行 2020年11月15日

発行元

公益財団法人 札幌市芸術文化財団 札幌市民交流プラザ

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目

TEL:011-271-1000 (9:00-22:00 ※休館日を除く)

©本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



札幌市民交流プラザ

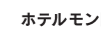


<https://sapporo-community-plaza.jp>



※イベント内容は10月31日時点のものです。やむを得ない事情により、開催期間、開演時間、出演者、曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー



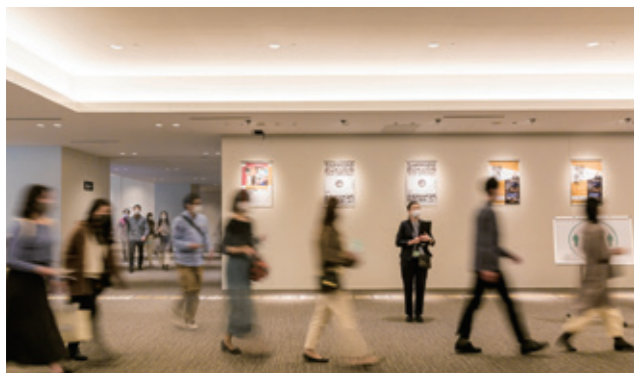
あいプラン、MORIHICO、アミノアップ、石部基実クリニック、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大谷学園、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌振興公社、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、さっぽろ東急百貨店、日本航空、福山倉庫、富士メガネ、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道電気保安協会、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、Life&Ceremony、敷島屋、北海道ガス、倉澤高圧コンクリート、旭イノベーション、SOC、遠藤興産、SAPICA、三精テクノロジー、大成建設、大丸札幌店、日建設計、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、あべ耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、藤城建設、ホクリヨウ、北洋銀行、北海道銀行、朝日新聞社、阿部小児科医院、アムテック、アルシス、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、AIRDO、おしま内科胃腸科クリニック、柿崎歯科、片桐企業グループ、TAT札幌、北空法律事務所、ケープラス・ロジ、札幌商工会議所、札幌デンタルケア、ジャパンテクニカルソフトウェア、サツイベ、すずらん乗馬クラブ、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、内科丹田クリニック、福住泌尿器科クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、ほりい総合法律事務所、マウントアライブ、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道

PLAZA FESTIVAL 2020



札幌爆音映画祭2020

2020.10.2 fri-3sat / クリエイティブスタジオ



音づくりに徹底的にこだわり、映画の奥深くも新たな魅力を体感できるイベントとして、国内外で好評を博している爆音映画祭。今年「札幌爆音映画祭2020」と銘打ち、クリエイティブスタジオを会場に、2日間で合わせて4作品を上映しました。昨年に続き2年連続での開催となった今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、座席の間隔を空け、席数を制限した贅沢爆音特別編として企画されました。劇場からの要望を受け、ディレクターの小野朋子さんと爆音プロデューサーの樋口

泰人さんが選んだのは「レディタリー」／継承「ラ・ランド」「セノーテ」「マッドマックス 怒りのデス・ロード」というバラエティー豊かな4本。今年も札幌に前乗りして、音響のセッティングに取り組んだという樋口さんに、会場ならではの特性や爆音上映の裏側について伺いました。

2004年に東京の吉祥寺バウスシアターでスタートした爆音上映は、ただ音量を上げるだけでなく、作品ごとにベストの音を細かく探って調整し、その映画が持つポテンシャルと魅力を引き出すのが狙い。設備や音響機材をフルに活用して音の演出を行うことで、観客の臨場感や没入感も増幅させていきます。

「クリエイティブスタジオは、箱としてのサイズ感とスピーカーとのバランスがいいのが最大の特徴です。使用されているのはポイントソースというタイプのスピーカーなのですが、ひとつの点から音がフワッと全体に広がっていく持ち味があります。最初は音が客席の中心部に集まり過ぎていたので、スピーカーの向きを少し外側に開いて広がり感を出しました。また暗幕を張ったり、スクリーンの反射を防ぐシートを敷いたりしたことで、うまく反響音を吸ってくれて、人の声がしっかり聞こえるベストな環境になったと思います」。

また、贅沢爆音特別編として座席の間隔を空けたことで、音響設定時の意図がタ



樋口泰人 / 1957年生まれ、山梨県出身。音楽評論家、映画評論家、爆音プロデューサー。2004年に吉祥寺バウスシアターで映画の爆音上映イベントを初開催。2008年より爆音映画祭をスタート。著書に『映画は爆音でささやく 99-09』ほか

イレクトに客席に伝わる効果も。実際に「ラ・ランド」を鑑賞した二人のお客様は「大好きな作品で何度も見ているが、全く違う感覚でした！会場の大きさや音のバランスも良くて、音楽をずっと聞いているくらいに最高でした」「人との間隔が空いていることで、より映画の世界に入り込めました。ぜひ違う作品も爆音で見たいですね」と、それぞれ感想を話してくれました。

「『ラ・ランド』は主人公の2人の物語であると同時に、そのほかのたくさんの登場人物たち、いくつものカップルの夢の物語でもあります。そんな一人ひとりの人生に思いを巡らせてもらえればと、人の声がいかに聞き取れるように心掛けました。前日に設定を決めました。上映当日の朝も早めに現場入りして、ギリギリまで調整していたんですよ(笑)」。

細井美裕 サウンドインスタレーション “Lenna” 2020.10.2 fri-7wed / SCARTSモールC



空間特有の響きも作品の一部として取り込み、さまざまな質感のある音に、全身が包まれるような稀有な体験を創出

「SCARTS:世界のオーディオカルチャーをフュージョンする24人に選出されたボイス・アーティスト、細井美裕さんが中心となり、2019年に制作されたサウンド音響作品『Lenna』が、フェス開催中の館内に響きわたりました。高さ10mのSCARTS(スカールズ)モールCに合わせて、細井さんが7分45秒間の作品を14chのシステムに再構築。複数のスピーカーを組み合わせ、まるで建物そのものの歌声に包まれるかのような特殊な環境を作り上げました。期間中の10時00分から19時00分まで、毎時00分から再生され、ひとりの人間の声とは思えないような立体的な音響作品に、フェスを訪れた人々も足を止めて聞き入っていました」。

EVENT REPORT

感動が、交差する。

PLAZA FESTIVAL 2020

今年で2回目を迎えたPLAZA FESTIVALが10月2日から7日にかけて、

札幌市民交流プラザの各施設で開催されました。

映画や番組の上映会から建物全体を使ったサウンドアートの上演、

ジャズライブにマルシェまで、多彩なイベントの模様を振り返ります。

※各イベントは新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を施した上で実施されました。マスク着用などへのご協力、ありがとうございました。



第2マルバ会館 ㊦㊦な上映会

2020.10.2 fri-7wed / SCARTSスタジオ

会場を固定せずに活動するノマドシアター、第2マルバ会館がSCARTSスタジオに登場。親子で楽しめるショートフィルム上映会&ワークショップを開催しました。

10月2日と3日の上映会では、座席の代わりにフラフープを設置し、ソーシャルディスタンスに配慮。ドイツ・オーバーハウゼン国際短編映画祭のアーカイブの中から選んだ6作品を上映しました。

当日は、会場MCを担当した映像作家の大島慶太郎さんとドイツ在住のキュレーター、中沢あきさんをネット中継でつないだ作品解説も。和やかな雰囲気の中、多様な世界を自在に描いた短編を鑑賞しました。



Marché de GRENIER × PLAZA MARCHÉ

2020.10.2 fri-7wed / SCARTSモールA・B



MORHICO がプロデュースした「マルシェ・ド・グルニエ × プラザ・マルシェ」が10月2日からの6日間、SCARTSモールA・Bで開かれました。札幌市白石区のカフェの屋根裏で2016年まで開催していたマルシェが、札幌市民交流プラザに場所を移して復活。道内各地の雑貨店や飲食店など27店舗が出店しました。

「作り手との交流を大事にしたい」という思いを込めて企画された今回のマルシェには、同社オーナーの市川草介さんと親交がある作家やショップが勢ぞろい。個性豊かなハンドメイド品やヴィンテージ雑貨をはじめ、素朴な焼菓자에クラフトビールまで多彩な商品がそろい、会場はにぎわいを見せていました。

HTB 市民交流プラザ劇場

2020.10.5 mon-7wed / クリエイティブスタジオ

札幌市民交流プラザの真隣に位置するHTBとのコラボが実現。令和2年日本民間放送連盟賞番組部門に選ばれたおっぱい2つとつてみた〜46歳両側乳がん〜など、自社制作の6番組をクリエイティブスタジオの大画面で上映しました。

また上映後にはディレクタートークも行われ、収録時のエピソードやこぼれ話などを披露。来場者からは「HTBの制作力の高さを実感できました」といった感想が寄せられ、スタッフにとっても視聴者と直接交流する貴重な機会となりました。



ディレクタートーク Photo: RYOICHI KAWAJIRI

SAPPORO CITY JAZZ

2020.10.2 fri-7wed / 札幌文化芸術劇場 hitaru ほか

10月2日からの6日間で計19の多彩なプログラムを展開したサッポロ・シティ・ジャズ・フェスティバルの特設会場で開かれた「シアタージャズライブ」には国内のトップミュージシャンが出演したほか、SCARTSコートやクリエイティブスタジオでは「ユニバーサルジャズライブ」や「札幌ジュニアジャズスクール定期演奏会」などが行われ、来場者は落ちついた会場の中で、生演奏を楽しんでいました。

また、札幌市図書情報館ではジャズの歴史を紐解く名盤のレコードや関連書籍の展示も同時開催。多面的な構成でフェス会場を盛り上げました。



客席数を減らし、対面席をやめるなど、感染症対策を徹底した上で開催された「シアタージャズライブ」

AFTER TALK

作品と映画監督に触れる時間。
それを持ち帰って、
また自分の世界が広がる

映画監督

今泉力哉

一線で活躍中の映画監督を札幌に招き、自身に影響をもたらした映画作品の上映と特別講演を行う、クリエイティブスタジオシネマシリーズ「映画へと導く映画」。4月に開催予定だった初回の黒沢清監督編は「ロケ禍で11月3日に延期され、第2回の入江悠監督編は7月18日に「駅馬車」ディープ・インパクト」の上映後、特別講演が行われました。そして9月22日に開催された第3回は、今泉力哉監督を招いて「ステイキング」「リアリズムの宿」を上映。2作品に関する解説を交えた講演では、監督自身の提案で質疑応答の時間を長めに取り、来場者から飛び出した映画に関するさまざまな質問に丁寧に答える姿勢が印象的でした。

終了後、今泉監督にイベントの感想を伺うと「まず2作品を選ぶのはめちゃくちゃ難しかったです。映画の作品の幅を伝えたほうがいいかなと思いつ、ハリウッド大作の『ステイキング』と、対極にあるような小さな世界が描かれた『リアリズムの宿』を選びました」とのこと。

来場者には、今回上映しきれなかった作品の中から監督が選んだ「傑作映画リスト」も配布されました。「ある意味映画も生モノで、どんな環境で観るか、いつどこで出合っただけ感じ方も変わってくると思うんです。イベントに参加して終わりにじゃなく、監督に触れることで映画に興味を持ってもらえて、家に持ち帰って

リスト*の作品を観ることで、来て頂いた方たちの世界がさらに広がっていったらいいですね。」

また、今回のように人前でトークをする際、事前に質疑応答のシミュレーションをして答えを用意することはしないそう。「準備されたものよりも、その時、その場所でしか生まれないものが好きなんだと思います。作品を撮影しているも、NGシーンのほうが魅力的な場合もあるし、その時間が映ることに魅力を感じます」。トークの上では「なるべく難しい専門用語を使わず、自分の意見が絶対にはならないように伝えること」に気を配っているそうです。

会場となった札幌市民交流プラザを今回初めて訪れ、「若い方たちがたくさん利用していることが素晴らしいし、うらやましい」と監督。「自分は福島県出身ですが、学生の頃は、街の文化センター的なところに行くという発想が全くなかった(笑)。北海道にはミニシアターが残っていますが、映画館はシネコンだけという地方都市が増えている今、劇場以外の施設でこういった上映イベントが開催されるのは、すごくいいことだと思います」と語ってくれました。

*1981年福島県生まれ、2010年長編映画監督デビュー。「愛かんた(2010年)」「S」(2020年)ほかオリジナル脚本の恋愛群像劇を多数手がけ、2021年の公開待機作に「あの頃、街の上で」がある。

※シネマシリーズは監督の講演時に、監督が選んだ傑作映画リストを来場者に配布している。



北海道の文化発信の拠点として
新たなオペラ作品の創造へ

Giacomo Puccini

hitaruは2018年10月の開館以来、オペラ「アイターダ」「トゥーランドット」「カルメン」、新国立劇場バレエ団による「白鳥の湖」くるみ割り人形」など、質の高い舞台芸術作品を提供し、道内外のさまざまなアーティストの表現の場として、また市民が集う場として劇場の役割を果たしてきました。開館3年目に着手するhitaruオペラプロジェクトは、地元のアーティストやスタッフ、教育機関などと連携し、北海道の文化発信の拠点として、劇場の財産として残る作品を創造していく取り組みです。

hitaru オペラプロジェクトのプレ公演として上演する「蝶々夫人」は、プッチーニ二作曲の日本を舞台としたオペラ。有名なアリア「ある晴れた日に」など壮大な音楽とともに、日本人女性・蝶々の愛と悲しみを描いた、プッチーニ作品の中でも人気の高い演目です。

演出を務めるのは、オペラ演出家として日本を代表する多くの劇場の公演を手掛けてきた岩田達宗氏。指揮は、プラハ室内管弦楽団やベルリン室内管弦楽団での指揮を経験し、近年は「オテロ」「ジャンニ・スキッキ」などオペラ指揮者として活躍する柴田真郁氏。今回の公演は、主要キャストを含む出演者等をオーディションによって選出し、北海道に縁のある出演者・スタッフでつくり上げていきます。

新しい生活様式の中で上演する
オペラの意義とは？

今回の公演「蝶々夫人」の稽古に先立ち、7月に演出の岩田氏が来札し、キャスト・スタッフに対して演出のプレゼンテーションを行いました。その一部を抜粋して紹介します。

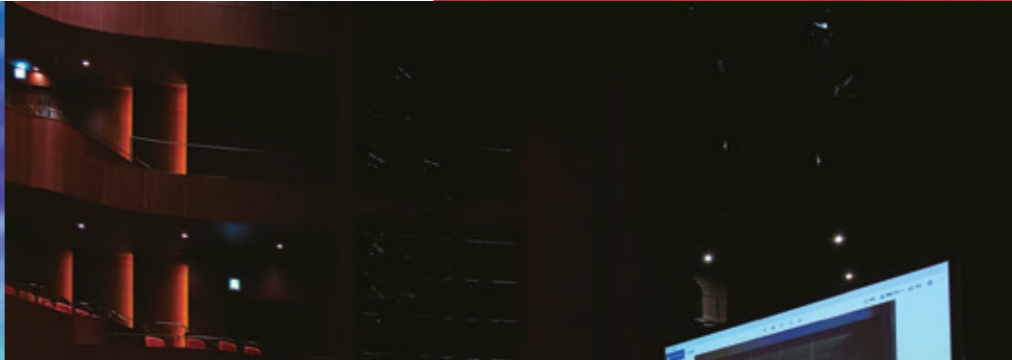
岩田氏は、まず冒頭で今回のプロダクションの意義を訴えました。



「蝶々夫人」は、新しい生活様式の中でのプロダクション。コロナ禍によりいろいろなプロダクションが中止・延期となっている中で、全国的にみても新しいカタチの先陣を切ることにあります。私は全国各地で仕事をしていますが、hitaruに

関する声をよく聞きます。それは単に「ハコ」という視点ではなく、そこにスゴイ人たちがいて、スゴイものをつくっているという人的資源として注目されており、「アイターダ」や「トゥーランドット」を上演し、大きな反響があった札幌と、この街、hitaruという劇場に関心が向けられています。

新しい生活様式になつて、hitaruがこれからどういう作品を発信するのか。私たちは大変な使命を背負いました。今、世界中の人々がコロナウイルスで苦しんでいます。その中で世界の人たち



右上・右下：7月11日に行われた音楽稽古は、柴田真郁氏の指揮のもとソリストと合唱のパート別に展開。テンポや音の強弱など歌唱の細かいニュアンスが入念にチェックされ、稽古は繰り返し行われた
左上・左下：7月12日の稽古では、出演者は感染症予防のためマスクやフェイスシールド等を着用して参加。演出の岩田達宗氏、舞踊指導の若柳智彩氏により、着物を着た際の姿勢や歩き方、座り方など基本的な所作の指導が行われた

hitaru TOPICS

蝶々夫人ができるまで

The making of Madama Butterfly

【前編】

札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)では、地元のオペラ団体、アーティスト、スタッフ、教育機関などが総力を結集し、hitaruを舞台とした新たなオペラ作品を創造・発信する「hitaru オペラプロジェクト」をスタートします。そのプレ公演として、北海道二期会との共同主催により、2021年2月21日に「蝶々夫人」を上演。2022年度からスタートするhitaru オペラプロジェクトのプレ公演として開催します。

が共通で語れる言語・文化はとても大事なことです。オペラは、世界の共通言語です。私たちはそういう大切な文化を担っています。新しい生活様式の中で、それを遵守して、絶対2月21日に幕を開けて「ゴールしましょ」。

失われていく武士の精神を守る
最後の侍を描いた「蝶々夫人」
岩田氏は、続いて「蝶々夫人」の精神性について語りました。

「蝶々夫人」は、世界中の人々の財産のようなもの。日本のことが正しく描かれたこの作品を、私たち日本人がきちんとつくり上げる責任があると思います。プッチーニがこの作品を書いたのは、帝国主義の時代。彼は、欧米の科学技術や軍勢力、経済力といった、暴力が支配する社会に踏みにじられ、犠牲者となった女の子たちを描いていました。「蝶々夫人」は、日本への興味とも結びつき、彼の描きたい題材にぴったりだったわけですね。



「蝶々夫人」の創作にあたり、プッチーニは当時のイタリアの外交官夫人である大山久子さんと巡り合い、徹底的に日本の文化を学びました。大山さんは、服装や食事といった表面的なものだけでなく、日本が欧米化していく中で失っていく武士の精神を伝授。プッチーニは、日本人本来の精神性、文化の在り方の根っこを学ぶことができたのです。

「蝶々夫人」では、15歳の女の子がアメリカのいい加減な軍人に踏みにじられますが、彼女は失われていく武士の魂を守る最後の侍として描かれています。

「蝶々夫人」は1904年の初演から改訂を重ね、1906年のパリ公演の第6版が今日のスタンダードになっています。ですが、今回の公演では日本人の精神性を重んじ、2カ所をオリジナルに戻すという岩田氏。この後、プレゼンテーションでは、改訂のポイントとセットの意味合いについて説明されました。

hitaru オペラプロジェクト プレ公演
G.プッチーニ作曲
オペラ「蝶々夫人」

2021年2月21日【日】
14:00開演(13:00開場)
札幌文化芸術劇場 hitaru

12月
発売予定

hitaru (ヒタル) シリーズ [第2回] 札幌交響楽団 新・定期演奏会

ホールに帰ってきた、オーケストラの調べ

コロナ禍により全国の舞台芸術の公演が中止・延期を余儀なくされる中、8月6日、札幌交響楽団の新・定期演奏会 hitaruシリーズ第2回が開催されました。当初は、第1回を5月28日に開催する予定でしたが、コロナ禍により中止。札幌交響楽団では、今年1月以来のhitaruでの公演です。

この日の指揮はhitaru 芸術アドバイザーの尾高忠明氏、ヴァイオリンのソリストは辻彩奈氏。コンサートは、武満徹作曲「波の盆」の美しいメロディで幕を開け、メンデルスゾーン作曲「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」の優美な調べがホールを包み込みました。辻氏は、前半のアンコールとしてパッハ作曲「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番よりガヴォット」も演奏し、聴衆を魅了。休憩をはさみ後半は、ベートーヴェン作曲「交響曲第5番ハ短調 運命」の、困難に立ち向かう勇気を奮い起こすような熱演でフィナーレを迎えました。

本公演では人数制限が敷かれ、来場者数は約700人。マスクの着用、入場時の消毒と体温チェック、間隔を空けた座席、終演後の分散退場などの感染症予防対策が行われました。また、札幌交響楽団においては、舞台上の人数を制約するため、弦楽器の少ない小さなオーケストラ編成に変更。奏者間の距離を取り、弦楽器は譜面台を一人一台とするなど、細かな接触・飛沫予防対策が施されていました。

札幌交響楽団の各楽団員は、活動休止期間中、リモート収録による演奏の動画配信、吹奏楽部の子どもたちに向けたワンポイントアドバイス動画配信などを行い、社会に対して音楽を提供していました。

活動休止期間中に培ったものを表現する場を得て、存分にパフォーマンスを発揮した札幌交響楽団。hitaru シリーズの第3回は、来年1月28日開催予定です。



久々のhitaruの舞台上、素晴らしいパフォーマンスを披露した札幌交響楽団。楽団員一人ひとりの演奏する喜び、音楽への愛情が伝わり、ホールは感動に包まれた。

INFORMATION

札幌市民交流プラザの新型コロナウイルス感染症に関する取り組みと

ご入館に当たってのお願い

札幌市民交流プラザでは、来館者や利用者、職員等の安全、安心のため、以下の取り組みを行っておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

◎当館の取り組み

- ・定期的な館内清掃、換気対応、消毒対応を実施いたします
- ・貸室の鍵及び貸出備品の利用の都度、消毒対応を実施いたします
- ・受付、窓口等では、ビニール、アクリル等の仕切りを設置しております
- ・お客様と直接接する職員は、マスクを着用いたします
- ・職員は、検温、手洗い、アルコール消毒を徹底しております

◎ご入館に当たってのお願い

- ・発熱や咳き込み等の症状がある場合は、入館をご遠慮願います
- ・館内では、マスクの着用をお願いいたします
- ・手洗い、手指のアルコール消毒をお願いいたします
- ・周囲の方との距離をとってください(2m程度)
- ・ゴミについては、お持ち帰りをお願いいたします

hitaru TOPICS



role as Mitsuya Okubo Bonze

—— 今回の「蝶々夫人」出演に至るまでの経緯と、プロジェクトへの思いをお聞かせください。
これまで東京でオペラの演奏活動やオーケストラのソリスト、合唱指揮、企画などに携わり、今年4月に北海道教育大学岩見沢校に准教授として着任しました。その後、幸運にもボンゾ役として出演することになりました。私は北海道出身ですので、hitaruのプロジェクトに参加させていただくことを、とてもうれしく思っています。

—— 今回は、蝶々さんの叔父であり借侶であるボンゾ役を演じられますが、その役への思いをお聞かせください。

札幌でしかできない舞台を、 全国へ発信するおもしろさ

蝶々夫人「ボンゾ役」

大久保光哉 Interview

顔合わせのときに演出家からプランニングについて聞き、ボンゾ役をどうつくるか、楽譜とにらめっこしながら自分なりに考えてきました。ボンゾは、蝶々さんがピンカートンと結婚するためにキリスト教に改宗したことに激怒し、彼女を勘当した「おじさん」ですので、かわいさ余って憎さ100倍みたいな部分をどう表現するか。元来お坊さんではなく、もともと武士だったおじさんがお坊さんになったという役柄を演じていきます。

—— 来年2月21日の「蝶々夫人」本舞台への意気込みをお聞かせください。
hitaruは、新国立劇場に匹敵するような

スケールの舞台。それをどう使い、ここでしかない舞台をどうつくるか、とてもおもしろいことだと思えます。今まで地方では東京でつくった舞台を持つてくることが多かったと思いますが、今回はここから全国へ発信する。今後札幌の文化を全国に持つていく上で、大きな意味を持つプロダクションになるだろうと思います。

—— 大学において後進を育成する思いをお聞かせください。
一昔前ならオペラやクラシックに触れる機会は限られていましたが、今はネットでほとんどの芸術に触れることができます。せつかく情報が溢れているのだから、学生にはいろいろなものに触れ、幅広く経験してほしいですね。自分も法律学科から銀行員になつて芸大へ進み、たくさんの経験を積んできた自信があります。歌は、結局人間そのものが出てしまうもの。経験の有無はすごく大きいので、そういうサゼッション(提言)的なこともレッスンに組み込んでいきたい。とにかく北海道だけに留まらず、チャレンジしてほしいと思います。



声楽家(バリトン)。北海道出身。慶應義塾大学法学部卒。東京藝術大学大学院博士課程および文化庁オペラ研究所第10期生修了。文化庁派遣研修員としてスウェーデンに留学。音楽博士。二期会会員。白樺町文化奨励賞受賞。北海道教育大学岩見沢校准教授。新国立劇場ではこけら落とし公演「TAKERU 建」「修善寺物語」など多数の公演に出演。そのほか、二期会・読売交響楽団・日生劇場共催公演「リア」、読売交響楽団「バリトンとオーケストラのための般若心経」などに出演。北欧歌曲の普及、合唱指揮、演奏会の企画・構成などマルチな活動を展開している。

前衛陶芸に出会い、
独立して本格的な創作活動へ

— 陶芸を始めた経緯をお聞かせください。

父が陶芸家で、子どもの頃から仕事を手伝わされてきました。初めは正直好きではありませんでしたが、徐々に焼き物のおもしろさやわかるようになり、18歳頃から本格的に仕事として師事。父は百貨店で文化教室を行っていましたが、その講座を手伝いながら陶芸の基礎的なことを学びました。

— 師匠である故父・下澤土泡さんからのようなことを学びましたか？

父は昔ながらの職人気質で、教える人ではなかったですね。教わるというより、見て覚える修業。その分、押し付けることがなかったので、自由に制作させてもらいました。

— 若い頃、何か影響されたものはありますか？

何度か信楽の窯元に行つて勉強させてもらい、そこで陶芸の基礎を学びました。20代の中頃、前衛陶芸集団「走泥社」の作品に出会い、それが衝撃でした。走泥社は、八木一夫さん、山田光さんなどにより結成された京都の陶芸集団です。実用性を伴わない「オブジェ焼き」に惹かれ、自分なりに独学で、夢中になつて前衛陶芸にのめり込みました。

— その頃は、お父さんの工房にいらつしたのですか？

父の工房を手伝っていましたが、その頃から考え方にズレが出てきて……。父が考える焼き物の方向性と自分がやりたい焼き物の方向性が乖離し、お互いにつぶかることもありました。そこで独立を決意し、1996年「陶工房 Shimozawa」を設立。平岸の古い建物を借り、電気窯と灯油窯を入

再生を創造する

陶芸家 下沢敏也

前衛的なフォルムの陶芸作品に貫かれた、
朽ちていくもの＝再生という視点。
札幌の地において創作活動を続ける陶芸家・下沢敏也氏に、
作品づくりへの思い、哲学を伺いました。

TOSHIYA SHIMOZAWA

連載 | アーティストボイス

1960年札幌市生まれ。1978年より故父下澤土泡氏に師事。1980年代に前衛陶芸集団・走泥社と出会い、自ら前衛陶芸を探究する。1990年「陶工房 Shimozawa」設立。1997年ニューヨーク Parsons School of Design研修。2005年「円山陶房」設立／代表。「再生」をテーマに前衛的な創作活動を続け、個展・グループ展多数。2009年札幌文化奨励賞受賞。2011年北海道文化奨励賞受賞。2013年「Shimozawa Toshiya作品集」中西出版より刊行。

れて始めた工房です。現在の工房に引越す2014年まで、その工房で制作を続けました。

朽ちていくもの、

生命の再生を表現する

— 下沢さんの創作には、器と前衛的な作品がありますが、考え方の違いは何ですか？

私は、器づくりと前衛的な創作を両立して行っていますが、考え方は真逆。器は積み重ねていく仕事ですが、前衛は既成概念にとらわれず何かを壊しながら進んでいく仕事だと思います。対局にある両方をやるのが、私にとってちょうどいいバランスなんです。

— 下沢さんの作品には「再生」というテーマが貫かれています。その思いをお聞かせください。

20年以上前から「再生」をテーマに制作していますが、自然物が朽ちていく表情が好きなんです。それは子どもの頃、山の中に遊びに行つて見た、朽ちた木や陥没した土地など、私の中の原風景に通じるもの。朽ちていくって何だろう？と考えた



撮影：萩沼秀和



ときそれは終わりじゃなく、次につながる力を持っていることだと気づいたのです。朽ちていき生まれ変わる、すなわち「再生」をテーマに、作品で表現していきたいと思いつきました。

— 作品づくりにおいて「モットー」としていることは何ですか？

固まらないうち、手を入れすぎないことですね。たとえば、ろくろから引き上げるとき、いちばんいいカタチのところをハッと終わるようにする。器も、前衛的な作品も、手の止めどきかとても大事です。最も美しいところで手を止めることを、常に意識しています。

土にこだわるのは、
陶芸にとつての本質

— 土についてどんなこだわりがありますか？

実は父は北海道の土にこだわっていた人でした。北海道の土は良くない、だから北海道で焼き物は育たないという日本の陶芸界の定説があり、父はそれに反発して北海道の土で制作を続けました。



若い頃、私は父に反発していましたが、知らず知らずのうちに父のこだわりを受け継いでいたんですね。その土地の土を使い、その土地で焼き上げるのが、焼き物の基本。土にこだわるというのは本質で、自分の作品と密接な関係性があると思います。

— 使っている土にはどのような特徴がありますか？

使っているのは、主に野幌で採れるレンガの原土。それを自分で調べて練って使いますが、私は不純物が入ったまま使います。それは、焼いたときに不純物がいろいろな表情を出すため。土をきれいに仕上げないで、素朴な感じに仕上げる。手を入れすぎずに、土の表情を殺さない。その辺りをすごく大事にしています。

— 今年9月に行われた個展も「朽ち往くもの」がテーマでした。

この個展は、布に粘土を染み込ませて成形し、それを野焼きするという手法で、生き物の抜け殻や骨のように見える立体を制作。今まではない、まったく新しい挑戦でした。「朽ち往くもの」というテーマに加え、「脱皮」というキーワードもあり、そこに存在していた生命が新たな生命を育んでいく様子を表現したのです。

Artist Voice



— 札幌で創作活動を続ける理由は何ですか？

ずっとこの地でやってきて、ここでやるのが当たり前になっていきますね。北海道は、四季がはっきりしていて、自然豊かな美しい土地。水点下になる冬のケアさえちゃんとするれば、良い土は豊富にありますし、とても創作に適した場所です。そして、しがらみがなく、自由にやれる風土がいいですね。

— 最後に、陶芸を志す次世代の方へメッセージをお願いします。

北海道は、ものづくりにはとてもいい環境。その土地にこだわり作品づくりを続けられれば、きっとおもしろいものが見えてくると思います。大切なのは、表面的なカタチをつくるのではなく、本質性を求め根源的なものを見極めること。どういう作品をつくつて、どういう作家になりたいかを、しっかりと考えてほしいですね。焼き物には、土という柔軟な素材を焼く不確定な工程が欠かせませんが、その不確定な要素も楽しみながら、とにかくさまざまな経験を吸収してほしいと思います。

「ことばのいばしょ」展を振り返って

「いばしょ」が生まれた記録と記憶

2020年8月22日から9月22日まで、札幌文化芸術交流センター SCARTS（スカーツ）で開催された「ことばのいばしょ」展の様子を写真とともに振り返ります。



折笠良《水準原点》2015年 アニメーション：粘土の上にコマずつ手で描いた文字が波模様と混り合って躍動する映像作品

時を積み重ね、言葉の実像に迫る

折笠良
© 1F SCARTS FLOOR

8月22日から1カ月間にわたり、札幌市民交流プラザ内の各スペースで開かれた「ことばのいばしょ」展。SCARTS主催のこの展覧会では、言葉に対する鋭敏な感覚を持ち、多様な手法で創作に取り組み、注目作家たちの作品を広く紹介しました。

1階のSCARTSコートでは、詩や文学作品をモチーフに実験的な映像作品を発表し、国内外から高い評価を受けている折笠良の代表作《水準原点》と《この次第》を上映。制作のプロセスがわかる関連資料に加え

て、新作の立体作品も披露されました。

大スクリーンで上映された2本の映像作品は、1秒あたり24枚の原画をもとにしたCGや、粘土のコマ撮りを用いて、文字のうねりや反転を表現するそれぞれに異なった技法が特徴。石原吉郎の同名の詩を題材にした《水準原点》は、総カット数約7000枚という濃密な時の積み重ねを通して、詩と詩人の実像に近づこうとするアプローチが圧巻でした。

一方の《この次第》は「言葉の誕生」をテーマに、環ROYのラップに、独自の映像をミックスしたミュージックビデオ。8月22日には、環ROYのパフォーマンスと、折笠も加わったアーティストトークも行われました。



上：《この次第》2017年 アニメーション：折笠のCG映像による環ROYのミュージックビデオ
中：《水準原点》制作のためのドローイング
下：折笠良 アーティストトーク（写真左より）大島慶太郎、折笠良、環ROY
Photo: RYOICHI KAWAJIRI



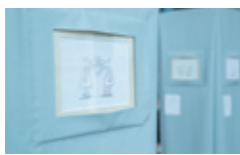
上：若者たちが「震災」「家」「友だち」のリアルを語る/2020年 映像展示
中：前作の出演者の今を切り取った新作も初公開
下：「コロナ対話の広場」展示風景

参加型の展示で対話の場を創出

小森はるか + 瀬尾夏美
© 2F SCARTS KITCHEN / SCARTS FLOOR C

映像作家の小森はるかやアーティストの瀬尾夏美は、2011年からアートユニットとして活動を開始。東日本大震災で被災した東北各地を丹念に訪ね歩きながら、文章やスケッチ、絵画、ドローイング、写真さらには地元住民との協働で制作した映像作品などを発表し、現在は仙台市を拠点に創作を続けています。

言葉と対話をベースにドキュメンタリー色の強い手法で同時代のリアルを記録するのが二人の作風。本展ではコロナ禍の歪な日常を踏まえて「みえる世界がちいさくなった」というテーマを掲げ、SCARTSスタジオとSCARTSモールの2会場で展示を展開しました。



上：ドローイングと印象的なテキストで過ぎゆく日々を描いた《コロナ天使日記》
下：アーティストトーク&ミニワークショップ
Photo: RYOICHI KAWAJIRI

SCARTSスタジオでは、3人の若者が「震災」「家」「友だち」をテーマに対話する映像

作品を3つのスクリーンで同時上映。さらにコロナ禍の世界を生きる彼らの現在を撮り下ろした新作映像も発表しました。

また、オープンなスペースのSCARTSモールは「コロナ対話の広場」に。緊急事態宣言下を経た人々の感情や思いを天使が代弁する《コロナ天使日記》の展示を軸に、訪れた人たちが自由に参加できる仕掛けも施し、新たな思考と対話の場を提示しました。

詩人・歌人と版画家、4つの化学反応

言葉と版画、本の森
© 1F SCARTS FLOOR A・B

たくさんの方々が行き交う1階のSCARTSモールに出現したのは、言葉と版画が生きる森。札幌にゆかりのある新進気鋭の詩人・歌人と版画家のコラボレーションから生まれた4作品を、本を模した什器と合わせて展示しました。

初谷むい（短歌）×風間雄飛（版画）（文月悠光（詩）×土岐美紗貴（版画）（三角みつ紀（詩）×大泉力也（版画）（山田航（短歌）×松浦進（版画）の各ペアが、それぞれひとつの作品を仕上げるという意欲的な試みは、作家陣の詩集や歌集から印象的な詩歌を抽出するところからスタート。現代詩や短歌のトップランナーの「ことば」に触発された4人の版画家は、独自のアプローチで創作にあたり、その化学反応は見応え十分。展示空間のそのもののおもしろさもあり、通学や通学の道すがら、足を止めて作品と向き合う方々の姿も数多く見られ、大きな反響を呼びました。

コロナ禍の自粛期間を経て、私たちの暮らしが手探りながらも徐々に歩みを取り戻すタイミングで開催された、今回の展覧会。とかくギスギスした「ことば」が飛び交いがちな世情の中にありながら、期間中は確かに、作品を介した交流の場、「ことばのいばしょ」がそこには生まれていました。



左：4人の詩人・歌人と4人の版画家がタイプの異なる4作品を発表、中：本を模した楽しい展示に引き込まれる観覧者も
右：初谷むいと風間雄飛のコラボは、短歌とシルクスクリーンが見事に調和



「ことばのいばしょ」

MORHICO.のオーナーである市川草介さんは、自らが手掛けるカフェやレストランを「総合芸術」と称します。それは札幌市民交流プラザ2階の「レストラン・ダフネ」からも存分に伝わってきます。北海道産の食材とフレンチの伝統的な技法で彩られた料理、天然の無垢材を使った本物を感ぜられるインテリア。それらが一体となった空間は、千利休の茶の湯にも通じる気高さと居心地の良さを感じさせてくれます。なにより、一度でも食事をしたことがある人は、器からもその一端を感じたのではないのでしょうか。なぜなら「レストラン・ダフネ」では、フレンチを含む洋食レストランで当たり前に使われる白い磁器の皿が一枚も使われていないのですから――。

「手塩にかけて創作した空間だからこそ、より創作性の高い器にしたかった」と理由を明かす市川さん。欲しかったのは一般的な工業製品ではなく、「割烹や茶懐石などで使われる手作りの風合いを感じる食器」でした。そのイメージから実際の器を見つけてきたのは、市川さんの店づくりを長年にわたって支える和田硝子器店の和田亜希子さん。「すぐに思いが共有でき、岐阜県のクラフト感のある器が思い浮かびました。」

食と空間の総合芸術をつなぐ存在。



方向性が決まってきたからには、古里裕之シェフと料理の内容や提供の仕方、盛り付けの際に必要な余白具合などを話し合い、一皿一皿のサイズ感や形状を吟味しました。

建築や芸術の世界に「神は細部に宿る」という格言がありますが、「レストラン・ダフネ」ではカトラリーの「一つひとつにもこだわって、例えばディナーコースで使われているのは、市川さんが「絶対に欲しかった」と語るフランスの高級食器ライヨールのナイフとフォーク。「名だたるフレンチシェフがなぜ愛用するのか。それは使ってみたら分かります」と市川さんが言えば、和田さんも「メイン料理の前にライヨールが並べられるだけでワクワクするはず」と、その存在感は別格です。また、ディナーコース以外では、新潟県燕三条でつくられているマット加工を施した、いぶし銀な風合いのカトラリーを採用。こちらも一般的なレストランで使われる光沢のある銀食器と一線を画しています。「器とカトラリーは、空間と料理をつなげる大事な存在」と話す和田さん。他にも「一つひとつ手づくりしたカトラリーレストがあったり、こだわりが随所に詰まっています。ぜひ来店の際は器やカトラリーにも注目してみてください。」

展覧会図録
ことばのいばしょ

【2020年11月11日(水)発売】

2020年8月22日から1カ月にわたって開かれた主催展覧会「ことばのいばしょ」の図録を11月11日に発売しました。

図録の一般書籍としての出版は、SCARTSとしては初の取り組み。編集者の来嶋路子氏が全体の構成を担当し、出展作品と展示の様子の紹介はもちろん、一冊の本として読み応えのある内容となりました。また、ブックデザインはアートディレクター／グラフィックデザイナーの川尻竜一氏(デザ院所属)が手掛けました。

さらに、参加アーティストらが本書のために新たにエッセイを寄稿。コロナ禍の最中、「ことば」を軸に展開された展覧会の記録と記憶を留める記念の保存版です。

言葉が形をまとい、イメージが広がる本に
くるしま
編集者 来嶋路子氏 (元「美術手帖」副編集長)

展覧会の図録は、展示風景や作品にフォーカスするのが一般的ですが、今回はテーマとなった「言葉」を大切に掲載したいと考えました。例えば、本を開いた状態で撮影したり、展示された文字を部分的に写真で切り取ったり。人から発せられる言葉が形をまとい、イメージが大きく広がっていったら。そう願って編集しました。

道内の書店やネットショップで販売中

著：札幌文化芸術交流センター SCARTS / 発行：中西出版
販売価格1,500円(税別) / A5判 / 96頁(ソフトカバー)
2020年11月11日(水)発売



文化芸術に関するお悩みにスタッフが応えます!

SCARTS 対面相談サービス

9:00-19:00 (休館日を除く)

事前
予約制

相談
無料

SCARTSでは、市民の皆様が文化芸術活動に関するさまざまなお悩みにスタッフが直接応える「対面相談サービス」を実施中です。

右記のような内容をはじめ、日々の活動でお困りのことなどがあれば、何でもお気軽にご相談ください。担当スタッフが役立つ情報を提供しながら、解決に向けて一緒に考えます。ご相談は無料で、1回1時間程度。なお、ご利用には事前予約が必要です。SCARTSのウェブサイトからお申し込みください。

相談までの流れ [要予約]

ご相談のお申し込み
相談の受付は
インフォメーションカウンター
もしくはSCARTSの
ホームページから



担当者との日程調整
相談内容によっては、
準備を必要とする場合も
ございますので、
日程調整をいたします

SCARTSでの対面相談
対面だけでなく、お電話やメール、
SkypeやZoom等でも
相談可能です

- 発表や活動の場を探している
- 各種助成金や公募の情報
- イベントの企画や告知の方法
- アーティストや演奏家の紹介

ホームページでの情報提供
SCARTSのホームページにおいても、文化芸術活動に役立つ情報を提供しています。ご活用ください。
◎札幌市内の文化施設・アトスペース情報
◎公募・助成金の情報(北海道・札幌関連)
◎札幌市内のアートボランティア紹介
◎外部リンク集(全国の助成金・公募等の情報)

司書のお仕事

Job of Librarian



お話を聞かせてくれた札幌市図書・情報館の司書、山田あゆみさん

司書とは、図書の収集や整理、調査相談など
図書館の専門的業務を担う職員です。

一般的には、本の貸し出し業務を主に行っているイメージが強いかもしれませんが、その仕事内容は多岐にわたります。では、既存の図書施設とは異なる、

ビジネス世代向けの調査相談・情報提供に特化した

札幌市図書・情報館における司書のお仕事とは――。

実は意外と知られていない、

司書のお仕事を深掘りするシリーズ企画、

第三弾のテーマは「選書」です。

「選書」とは文字通り、図書を選ぶこと。図書館の運営にかかわるさまざまな業務を担う司書にとって、まさに腕の見せどころとも言える重要な仕事のひとつです。

「課題解決型図書館」をコンセプトに据える札幌市図書・情報館は、一般的な公共図書館とは異なり、「はたらくをらくにする」をテーマに、取り扱うジャンルを限定していません。では、同館の司書たちは、どのようなアプローチで選書に取り組んでいるのでしょうか。

「札幌市内の図書館共通の選定要領、さらにWORK.LIFE.ARTのジャンルに特化した当館の特性に応じたルールがあります。基本的にはそのルールに基づいて本選びを行っています」。そう説明してくれたのは、司書の山田あゆみさん。「当館では

16人の司書が4つのチームに分かれて、それぞれが担当するテーマ別に本選びや棚づくりにあたっています。当然ながら、自分たちの好みの本を選んで、何となく並べているわけではないんですよ(笑)。

魅力的な棚づくりの秘訣は分類を超えた大胆な選書

約4万冊の蔵書数を誇る同館でも、国内の主な図書館と同様に、0から9までの数字を組み合わせて、大まかな分類から細かい分類へと徐々に細分化していく日本十進分類法(NDC)を採用しています。本の背ラベルに記された数字がNDCによる分類の証です。

「一般的な図書館だと、例えば最も大きな区分で1類にあたる哲学・宗教はAさん、同じく8類の言語と9類の文学はBさんというかたちで担当が割り振られ、書棚もおおむねこの分類に合わせてブルーピングされています。しかし当館の場合は、棚のテーマに沿ってあれば、これらの分類をまたいで、本を選んでもおケーなんです」。



確かに、本はNDCの数字順には並んでおらず、テーマでつながった実用書とルポルタージュ、さらにそこから派生した写真集やエッセイが同じ棚に配架されています。通常は隣同士にはならない図書がひとつの棚の収められていることがわかります。「司書にとっては守備範囲が大きく広がることになりす。そこが難しくもあり、おもしろいところですね」。

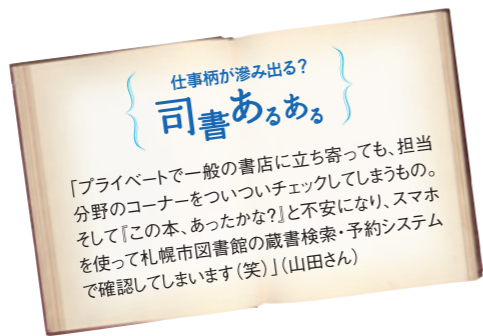
利用者のニーズ探しから選定する図書を絞り込む

「当館における選書は、あくまでも利用者の皆様のお役に立つことが大前提。例えば30代の女性をターゲットにする場合、人物像をできるだけ具体的に想定し、仕事や暮らしの中のニーズを探るところからスタートして、本選びにつながっていきます」。

膨大な既刊本の掘り起こしはもちろん、新刊情報は出版社や業界団体のウェブサイトなど各種媒体を通じて常に更新。世間の動向や時事ニュースにも気を配ります。

「選書で最も難しいのは、絞り込む作業です。限られた棚のスペースにどんな流れを作りながら本をそろえるか。司書は頭の中で考え続けています」。

例えば、山田さんが担当する「ビジネス



リサーチ」のコーナーを見ると、行政機関が発行する基礎的な調査資料やアンケートから、年鑑や統計書、業界地図にデータ分析のハウツー本、さらには有名経営者の著作まで、まるでひとつのストーリーを紡ぐかのように棚づくりを行っていることが読み取れます。また同館では、返却台に戻された図書のICタグを読み取って利用回数を計測し、今後の選書の参考データとして役立てています。

「自分が選んだ本がどのくらい読まれているのかは、やはり気になります。さりげなく担当の棚の様子をうかがうことも結構あるんですよ(笑)」。

歴史と芸術が響き合う

小樽芸術村
OTARU ART BASE

〒047-0031 小樽市色内1丁目3-1 [似鳥美術館] <https://www.nitorihd.co.jp/otaru-art-base/>

le trois

キレイ、ステキ、オイシイ。

le trois
ル・トロワ

地下直結

大通西1丁目
(大通駅24番出口直結)

営業時間 10:00~21:00
(レストランは11:00~23:00)
※店舗により異なる場合があります。

創造都市さっぽろ WAON

「創造都市さっぽろWAON」は、札幌市の文化芸術振興を応援します。

- ご利用金額の一部を札幌市に寄付させていただき、札幌市の文化芸術振興に活用されます。
- 本カードデザインは、札幌市立大学の学生が制作したイラストを採用しました。

AEON イオン北海道株式会社

7月3日、札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)で公演再開に向けたテストコンサート「ともそう TOMORROW」が開催されました。約3か月ぶりに幕を開けたステージの様をお伝えいたします。



撮影: 武田博治



新型コロナウイルス対策で日本中の劇場がさまざまな試行錯誤を重ねている中、札幌文化芸術劇場 hitaru では、コロナ禍でも安全・安心して劇場を利用いただける運営方法を試す機会と

して、7月3日にテストコンサート「ともそう TOMORROW」を実施いたしました。

開催にあたっては、事前にコンサート参加者の皆様にご了承をいただき、サーモグラフィでの体温測定や、非接触での受付方法を導入。休憩時の混雑緩和対応、分散退館など大規模公演の再開に向けた感染防止対策を行いました。

参加者は、札幌市民交流プラザメンバーズWEB会員109名、プロモーターや文化芸術関係者等154名の計263名。公演は、二部構成で行われ、第一部ではソプラノ川島紗耶さんとピアノ福由樹子さん、フルート按田佳央理さんが「Walzing Matilda」[誰も寝てはならぬ]など8曲を演奏。第二部にはSAPPORO CITY JAZZ 2015のメンバーでグランプリを獲得したジャズバンド「河野祐亮ピアノトリオ」が出演し、hitaruのために書き下ろした「Illumination」[illuminate you]を含む7曲を熱演しました。公演全編は札幌市民交流プラザ公式YouTubeチャンネルで公開中です。ぜひご覧ください。

今回のテストコンサートの経験を活かし、お客様が安心して hitaru へお越しいただけるよう、今後も感染対策に取り組んでまいります。

テストコンサートの動画はコチラ!



公演情報

新春 落語名人会 in hitaru — 落語の名手たちによる特撰落語会 —

◎日時:2021年1月24日[日] ◎開場12:00 開演13:00
出演者:三遊亭円楽、柳亭市馬、桃月庵白酒、柳亭市童
チケット料金:[全席指定]4,400円(税込)/ペア券8,000円(税込)



三遊亭円楽



柳亭市馬



桃月庵白酒

色気のある人情噺から爆笑までこなす、お茶の間の人気者、三遊亭円楽。落語の本格派、柳家の王道を忠実に守る落語協会会長の柳亭市馬。口跡はなめらかで、わかりやすい口調、初心者から通までも唸らせる、桃月庵白酒。

各世代の名人が、hitaruに集結。ここでしか観られない組み合わせで、新しい年を笑って迎える特撰落語会。札幌出身期待の二つ目、柳亭市童の成長ぶりにも注目です!「新春 落語名人会 in hitaru」で幸せな年の始まりを!!!

WAVE TIMES 読者アンケートご協力のごお願い ◎期間:11月14日-12月18日

WAVE TIMES 読者アンケートを実施いたします。今後の誌面作成のための貴重な資料とさせていただきますので、お手数ですがご協力くださいますようお願いいたします。

WEBアンケート

どなたでもご回答いただけます。右のQRコードを読み取り、アンケートページ(フォームページ)にご回答ください。



アンケート用紙

DM会員および主催公演時などの来館者が対象となります。DMに封入されたアンケート用紙にご記入いただき、プラザ1階総合案内に設置される回収BOXに投函するか、もしくはFAXでご送付ください。



テストコンサート

「ともそう TOMORROW」 公演情報 読者アンケートのお知らせ



trans
cosmos
people & technology

探せる・見つける・相談できる/
求人サイトなら

Work it 検索



血液の大切さ、
知っていますか？

勇気会 医療法人
北央病院

札幌市厚別区青葉町11丁目2-10 (南郷通沿い)
TEL.011-892-8531 (代)

生活協同組合コープさっぽろ 【CO・OP 共済ニュース】

組合員の皆様の暮らしに必要な保障を支える

組合員の声から生まれた
CO・OP 共済

家族一人ひとりにあったコースを
お選びいただけます

たすけあい あいふくす
プラチナ85 ぐとあい

資料請求はお気軽に! ☎ **0120-25-9431** □ <http://coopkyosai.coop>
コープさっぽろ各店舗またはトック配達担当者までお問い合わせください



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部



～北の大地とともに～
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
HOKKAIDO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>

TANAKA MEDICAL GROUP

大きな輪であなたを支えます

笑顔絶やさず。優しさ忘れず。
タナカメディカルグループ

病院

- 札幌田中病院 334床
- 札幌緑誠病院 342床
- 札幌宮の沢病院 355床

介護

- 介護療養型老人保健施設 博友会 127床
- 特別養護老人ホーム 愛輪園 90床
- 介護老人保健施設 愛の里 100床
- ケアハウス ホワイトキャッスル 100床

住まい サービス付き高齢者向け住宅

- ライフコート宮の沢 83戸
- ライフコート西野 82戸
- ライフコート手稲 81戸
- ライフコート手稲西 78戸
- ライフコートガーデン南館 81戸
- ライフコートガーデン東館 80戸
- ライフコート西宮の沢 80戸
- ライフコートステラ 51戸

タナカメディカルグループ
www.tanakamedical.net

★ 音楽、スポーツ、舞台などの
チケット購入はネットでラクラク♪

道新プレイガイド
オンラインストア

道新プレイガイド 検索

<https://doshin-playguide.jp>

無料メルマガ会員募集中!

ご購入
お問い合わせ **道新プレイガイド** TEL.0570-00-3871

【営業時間】
10:00～17:00
(日曜定休)

安全と豊かな「カーライフスタイル」をトータルサポートいたします。

Hokkaido
BUBU

IMPORT CAR DEALERS
MID

株式会社 北海道ブ <https://bubu-iss.com>

さらに強く輝く山へ。

ban.K

SAPPORO BANKEI SKI AREA

■さっぽろばんけいスキー場 ■〒064-0945 札幌市中央区磐溪 410 番地
■TEL.011-641-0071 ■www.bankei.co.jp

TAIYO GROUP

bankei ski school
2020-2021
**ばんけいスキー学校
生徒募集中**

スキー・スノーボード
ジュニア教室

スキー
幼児教室

ばんけいスキー学校

Hotel Monterey Group

ホテルモントレで
異国情緒を味わう

まるで異国に訪れたようなヨーロッパ
テイストの館内で優雅なひとときを
お過ごしください。

「伸びる」
「できる」
「わかる」
「できる」

RENSEIKAI GROUP

個別指導 **3.14** 可能性は無限

北海道ミルククッキー
札幌農学校

北海道大学認定

KINOTOYA

チラシクーポンが
スマートフォンに届く!
丸井今井
札幌三越 **LINE**

ご登録は
コチラ

marui imai MITSUKOSHI

nitaru OFFICIAL SPONSORS

nitaru OFFICIAL SPONSORS



冠婚葬祭
あいプラン つみたててる?
会員募集中!
お問い合わせ・お申し込みは
●お客様相談センター
☎0120-335-924

NOËL
クリスマス
特別プラン
ご予約受付中
011-211-0813

大和証券
Daiwa Securities
札幌支店 電話011-214-6111
〒060-8601 札幌市中央区大通西3丁目7番地
(北洋大通センター2階)

hug everyone.
さっぽろ東急
TOKYU

The Power of Nature
AminoUP
株式会社 アミノアップ

石部基実クリニック
人工股関節置換術
による治療を行っております。
011-206-7688 平日9:00~18:00 札幌市中央区大通西5丁目1-1
《完全予約制》桂和大通ビル3810階 大通駅3番出口 徒歩1分

JAPAN AIRLINES AIRBUS A350
札幌(新千歳) - 東京(羽田)線、好評運航中
www.jal.co.jp/dom/A350/

福 株式会社 福山倉庫

伊藤組土建株式会社
代表取締役社長 玉木 勝美
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 TEL 011(241)8477

誠実の一路を開拓者精神で貫く
岩倉建設株式会社

富士メガネ

HAC
HOKKAIDO AIR SYSTEM

岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長 岩田 圭剛
本社/札幌市中央区北2条東17丁目2番地
URL http://www.iwata-gr.co.jp

医療法人社団 愛育会
大通り矯正歯科
www.odori-kyousei.com

北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

ハートフルネットワーク
北海道中央バス

学校法人
札幌大谷学園
札幌大谷大学 札幌大谷高等学校
札幌大谷大学短期大学部 札幌大谷中学校
札幌大谷大学附属幼稚園 札幌大谷学園附属音楽教室

札幌市交通局
http://www.city.sapporo.jp/st/
hitaruにお越しの際は便利な地下鉄をご利用ください。

北海道
でんき保安協会

丸彦渡辺建設株式会社
代表取締役社長 藤城 英樹
札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号 TEL(011)811-8121

日本新三大夜景
札幌
SAPPORO Okurayama SKI JUMP STADIUM
札幌 大倉山ジャンプ競技場
〒064-0958 札幌市中央区宮の森1274
TEL.011-641-8585(大倉山総合案内)
※料金・営業時間等の詳細はHPでご確認ください。

もうすぐ**50年**
49年目の
さっぽろ地下街
オーロラタウン ■ ポールタウン

公益財団法人
萬田記念財団

三井のリハウス

CLASSIC SAPPORO
これが、
北海道の
ビール。
CLASSIC ONLY 北海道!
ストップ!未成年飲酒・飲酒運転 サッポロビール株式会社

ANA
CROWNE PLAZA
AN IHG® HOTEL
SAPPORO

北海道のおいしさを、まっすぐ。
よつ葉

Life & Ceremony Co.,Ltd
https://landc.ltd
人を支える 白衣の天使
介護 介護

医療法人 明日葉会
**札幌マタニティ
ウイメンズホスピタル**

人と環境にやさしい
ジェイ・アール北海道バス

hitaru OFFICIAL SPONSORS